

2024(令和6)年度 障害者等団体活動助成 申請団体一覧

No	団体名	活動目的・内容	助成額	ありがとうメッセージ
1	たんぽぽ会	精神障害者の家族の会。精神障害者の社会復帰を助け、そのために地域での社会的偏見の除去に努め、家族同志の交流をはかり、励ましあい、専門家を囲んで病気の勉強、正しい精神保健の知識を学ぶ。今年度は「家族セミナー(医師からの話)」 「家族セミナー(精神障害者の防災)」 「当事者の居場所(日だまり会)」などを開催。	117,000	歳末助け合い運動～地域いきいき募金～助成金を頂きました。誠にありがとうございました。当事者・家族が一人きりや家族だけで抱え込まない。孤立化させないために当事者と家族を守るために活動をしながら相談会・当事者の居場所作り・地域の人にも病気の事を理解してもらうために医師・防災士を講師に家族セミナーを開きました。交流をする中で顔見知りになりました。笑顔になりました。誠にありがとうございました。
2	中野区手をつなぐ親の会	知的障害者(児)、及びその家族の会。知的障害者(児)が幸せに暮らせることを目的とした団体。障害に対する理解を地域に広め、福祉施策や学校教育の保障及びその内容の充実を求め、社会に訴え、働きかける活動をする。「(区民向け)福祉講演会」や「(区民向け)音楽披露会」などの開催や広報紙の発行を行う。	245,000	今年度も中野区手をつなぐ親の会に多くの助成金を賜わり心より感謝申し上げます。おかげさまで障害理解啓発のための勉強会ができ、だれでもが、参加できる音楽会や書道講座を開催し、障がいのある方が発表する機会ができて、楽しい時間を共有することで多くの方に知っていただくことができてよかったです。
3	中野区原爆被害者の会	原爆の被害者、その家族・遺族及びその支援者の会。原爆被害者相互の親睦と、被爆者同志が力をあわせて多くの人々の協力をもとに、健康、生活などの諸問題の解決を図り、あわせて、ふたたびこのような惨事が繰り返されないように努力することを目的とする団体。「会員相談会」「クリスマス懇親会」などの開催、機関紙「長広会だより」発行。	66,000	高齢化、病弱化が進む一方ですが、区民の皆様のご支援が私たちの生きる励みであり、そのことに感謝しつつ世界から核兵器をなくすために老骨に鞭を打ち力を振り絞ります。ありがとうございました。
4	NPO法人 中野区視覚障害者福祉協会	視覚障害者の会。視覚障害者の福祉の向上及び広く一般市民の市民活動の活性化を通じて地域の発展に寄与することを目的とする。「区民との宿泊歩行旅行」、「区民との日帰り徒歩訓練」などを開催。広報紙「あゆみ」の発行。	350,000	私たち視覚障がいを持つ者にとって、日常で得られる情報は、とすると変化の乏しい、おどろきな平坦な物に集約されがちとなってしまいます。従って他者との触れ合いや、知らない場所への探求は新たな明日への活力になる重要な要素です。この度も皆様のお気持ちをお礼がたくいただき、当会は様々な事業を展開することが出来ました。心より御礼申し上げます。
5	中野区障和会	身体障害者およびその家族の会。障害者相互の連絡を密にし、互いに励まし、協力し、各種福祉研修を実施し、親睦を深め、社会復帰、自立更正を目的とする団体。定例的な居場所の「器楽サークル」、「地域団体との防災についてのバスハイク」などを開催している。	250,000	器楽の講師を招き日々体調管理、前向きに楽しく健康にすごせます。助成金感謝です。社会復帰に進むよう音楽を通じ引きこもり防止機能回復にみんなで笑顔で過ごせることに感謝しています。
6	中野区福祉団体連合会	中野区の障害者別各種団体のうち会の趣旨に賛同する団体をもって組織される。障害者の生活の向上と社会参加の拡充、差別のない世の中を目指し、会員たる障害者別各種団体相互の連絡を密にし、障害者福祉の充実増進を図ることを目的とする団体。「情報交換会」「(区民向け)防災講座」を開催。	180,000	障害者団体共通の悩みは、会員の高齢化です。団体の維持運営のために自助を基本としつつも、障害者理解とボランティアの輪を拡げる必要があります。今年度も「障害者理解推進」の活動の一環として、総合防災訓練への参加や防災講座の実施及び今年度は久々に「福祉連だより」の発行をすることvなどに取り組んできました。助成金をいただくことで様々な取り組みを実現できるとともに、積極的な広報活動が可能となりました。これは障害者理解推進の大きな力となります。有難うございました。
7	中野区肢体不自由父母の会	肢体不自由児・者の幸福を図る事を目的としている団体。今年度は「肢体不自由児・者とその家族と民生児童委員との情報交換」を開催し、障害の普及啓発や広報紙を発行する。	35,000	今年度は民生委員さんとの懇談会を計画致しましたが、諸事情により来年度に、もちこしとなりました。募金をしてくださった方々には毎年心を寄せていただき感謝致しております。この御好意に甘える事なく来年度も有意義な活動になる様努力致しますのでよろしくお願い申し上げます。
8	中野区手話リズムダンス協会	会の趣旨に賛同する障害のある人、ない人による会。障害者・高齢者の方々と手話リズムダンスを通じて交流し、楽しみ・健康づくりをしながら理解し自立支援を行うことを目的としている。「交流会」などを実施。	50,000	本年も区民のみならず中野区社会福祉協議会様のおかげで、たのしい交流会を開催できましたこと会員一同感謝いたします。この会のOBであったり、興味があっても身体的に毎回のレッスンに参加することが出来なくても、年一回の交流会により娘さんのつきそいで参加することを楽しみにされていたり、色々な方々の参加をあとおししていただけます。又、来年はデフリンピックが開催されます。耳のきこえない方々のオリンピックです。やはり4年に1回来年は東京で開かれます。この交流会で第2言語の手話を少しでも覚えていただきうれしく思います。

No	団体名	活動目的・内容	助成額	ありがとうメッセージ
9	中野区中途失聴・難聴者の会	区内在住の中途失聴者、難聴者をはじめ、広く聴覚障害者全般に対して、福祉の増進と生活・文化の向上を図る事業を行い、地域社会に寄与することを目的とした団体。「コミュニケーション学習会」「ピアカウンセリングカフェ」などを開催。会報誌「なかのなんちょう」を発行。	235,000	音声情報が入りにくいことで、社会で孤立感を持つ方がいます。でも、きこえないことは外見だけではわかりません。私たちの会では参加した当事者が不安を感じずに学び、交流し楽しめるように努めています。皆さまから頂く助成が活動の大きな力になっています。ありがとうございます。
10	中野区失語症友の会こまどり	失語症者・その家族間の情報共有、交流の場、社会活動を目的とする団体。「失語症者と当事者家族の交流会」の開催のほか、会報紙を発行。	57,000	当会は10周年を迎えました。失語症の方にとって、楽しく会話できる居場所は貴重です。会員より、外出しての相談会は、今までで一番よかったとの感想もいただいております。区民の皆様のお気持ちにより、活動を継続できております。ありがとうございます。
11	中野区重症心身障害児(者)を守る会	中野区内の重症心身障害児者の父母、保護者や協力者が助け合いながら、重症心身障害児者の福祉の増進を図ることを目的とした団体。「交流・情報交換会」、「区民向け福祉講座・学習会」などを開催や会報誌を発行。	125,000	会の設立から5年が経ちましたが、障害者の任意団体なので、経費収入は大変難しく、実態としては会員持ち出しになることも多いため、社協からの助成金のおかげでこの一年間、会員同士親睦を深めながら楽しく前向きな勉強会を含め、活動することができました。感謝しかありません。皆様の善意を還元できる活動を模索しながら今後も進めてまいります。
12	ぱらいまりい中野	肢体不自由児・者を持つ保護者、会の目的に賛同した者からなる会。肢体不自由児・者の心身の健康を増進させることを目的としている。定期的な「音楽療法」を実施。	75,000	今年度より、対面による活動を再開しました。残念ながら講師の体調不良等により、コンサートが開催できないなど予定通りにはいきませんでした。が、楽しく活動することが出来、対面で行うことの良さを実感しました。皆様のご協力に感謝いたします。
13	中野区茶道サークル	茶道を通じて障害のある方とない方との交流を行うことを目的とする団体。「新年会」「(会員への)様子うかがいの電話」などを開催。	133,000	中野区茶道サークルは1970年に障害者がリハビリでできることを目的に始め、毎月2回の茶の稽古と地域のイベント等にも参加しております。会員は30名弱 大半がボランティアの方たちも参加しています。
14	ユニークダンスを楽しむ会	会の趣旨に賛同する障害のある人、ない人による会。ユニークダンスを通じて、障害のある人、ない人の相互理解と親睦をはかり、障害のある人のリハビリテーションと健康維持増進をはかることを目的とする。「日帰りバス旅行」「クリスマス会」を開催。	50,000	2021年くらいからコロナ禍のこともあり、ユニークダンスを指導して下さる講師の方がみつからなかったが、2024年度の助成金で何とか講師を探せて、会員からは皆よろこばれました。
15	きょうだい児と家族の応援団にじいろもびーる	きょうだい児(障害児者の兄弟姉妹)やその家族の交流やネットワークづくりから、地域生活を支援することを目的とした団体。「(区民向け)福祉講座(きょうだい支援学習会)」「広報紙」などを実施。	68,000	助成金により「きょうだい支援」を多くの方々に知っていただくための啓発活動ができました。障害や病気のある兄弟姉妹をもつ「きょうだい」は、存在も課題も社会から見過ごされがちですが、ひとりでも多くの方が関心を寄せてくださることが大きな応援になります。ご支援に感謝申し上げます。
16	中野わの会	ひきこもりの子どもを抱えた家族が集まり、悩み事の相談、解決した事例の紹介、「家族勉強会」、カタルーベの会と共催で「区民向け講演会」の開催を行い、地域での孤立を防ぐことを目的としている団体。	90,000	ひきこもり当事者家族の孤立、不安の問題を解決していくためにカウンセラーや講師を招いて勉強会、相談ができ回復に向けての活動ができました。参加者一同感謝申し上げます。
17	カタルーベの会	ひきこもり当事者・家族のための居場所として当事者や家族が安心して悩みや不安を話せる場所として活動している。「家族会」「定例会」「講演会」を実施予定。	75,000	区内のひきこもり当事者、家族、生きづらさを抱えている方々の居場所を運営することができました。定例会やイベントを通して、当事者が区民の方々と交流し、孤立しやすい方々に仲間づくりや人とのつながりを感じて頂ける貴重な機会となりました。心より御礼申し上げます。
18	中野区ひとり親家庭福祉協議会	ひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)寡婦、寡夫それぞれの福祉向上のために活動している団体。今年度は「親睦旅行」を引き続き実施。助成金以外の事業として地域祭りでのバザー等がある。	300,000	この催しに始めて参加された母子家庭の親子がおり、母親は病気をかかえていてなかなか旅行などに参加できない事情があり、今回の旅行に大変満足されていました。他の参加者を含め交流ができました。
19	にじいろでんでんむし	ダウン症児・者とその家族がリトミックのレッスンを通じて、心身の健康増進と親子の絆を深め会員同士の交流を深めることを目的に活動している。今年度は定例的な居場所となっている「リトミック」や、ダウン症児等の知的障害の子どもの表現活動における可能性を見出し、将来の選択肢や余暇活動を豊かにするきっかけを行う「表現ワークショップ＆座談会」を実施。	150,000	「あそこに行けば誰かがいる」と皆の拠り所になる場所を作る事ができました。また今年は活動の幅を広げる事業として新たな試みに挑戦することができました。この助成金のお陰で実現することができました。ありがとうございました。

No	団体名	活動目的・内容	助成額	ありがとうメッセージ
20	障害児の休日クラブ	知的障害者向けの空手教室で健常者とともに実施している。障害児(者)の日常生活における礼儀を身に付け、地域でともに暮らせるよう心身の発達向上を目的としている。今年度は「写真展『障害児者の挑戦』」を実施。	300,000	この助成金のおかげですばらしい写真展を開催できました。写真展を通して障害者も社会で立派に活躍していることが大勢のお客様にわかっていただけたと思います。ありがとうございました。
21	東京・不登校＆多様な学びを考える親の会	今年度新規認定団体。不登校の子を持つ保護者が集まって学び合い、支えあう場をつくることを目的にしている。不登校の子を持つ保護者同士が安心して話せる情報共有の場である定例の懇親会の開催、不登校についての普及啓発講演会等を実施。	214,000	中野ZEROで40周年イベントを開催。毎月の定例会開催のチラシや、会の中で共有した資料の印刷ができました。おかげさまで年間240名の方に参加いただき、親同士が話し合い、思いを共有し、不登校状態にある子どもの気持ちを考え合うことができました。ありがとうございました。